

2023年9月29日

各 位

株式会社 北海道銀行

## ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）の 契約締結について

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、株式会社番匠伊藤組（中標津町、代表取締役 伊藤 直樹、以下「番匠伊藤組」）との間で「ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）」<sup>※1</sup>の契約を締結しましたので、お知らせいたします。

※1 [2021年9月16日付「ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始について」参照](#)

### 記

#### 1. グリーンローンについて

国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資であり、資金使途がグリーンプロジェクトの充当に限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートングを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しております。

#### 2. 本件の概要

借入人	株式会社番匠伊藤組
実行日	2023年9月29日（金）
資金使途	株式会社番匠伊藤組 BGP 発電所 ※バイオマス発電設備（メタン発酵ガス化発電）、発酵槽 等
貸付人	北海道銀行

番匠伊藤組は社是「不撓不屈」のもと、「社会を豊かにすること」「明るい未来の創造」に取り組むことを経営理念に掲げ、サステナビリティに関する4つの指針「環境への配慮」「リサイクルと再利用」「社会的な側面への配慮」「技術とイノベーション」を示しています。

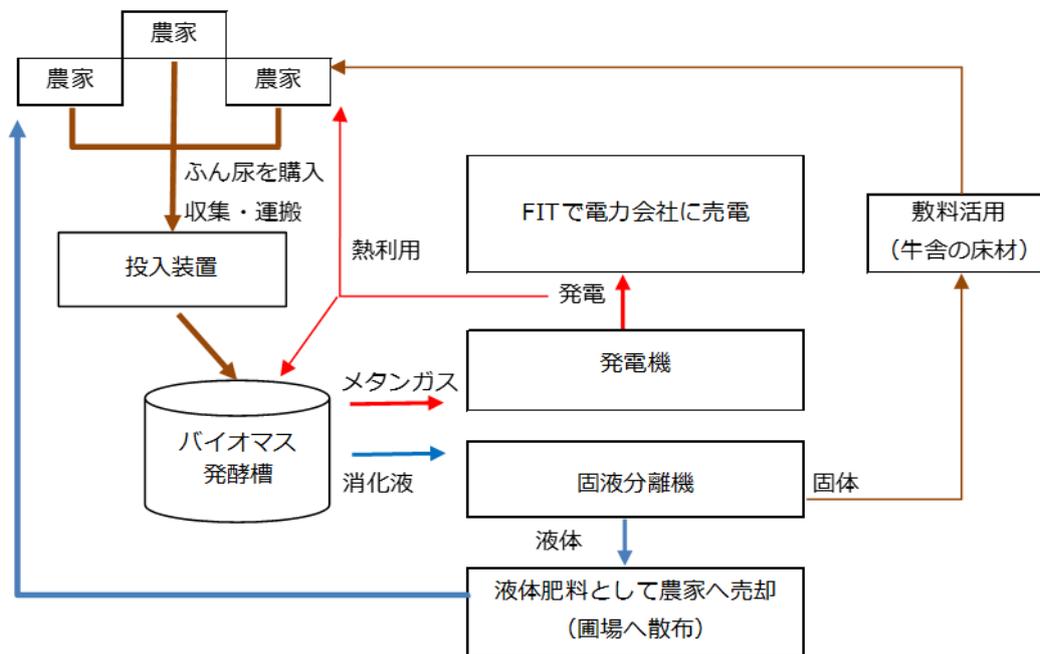
本件で建設するバイオ発電設備では、自社の関連農家および周辺の農家から1日約60tの家畜ふん尿を有価物として調達し、バイオマス発酵槽で発酵・回収したメタン発酵ガスを活用して年間約2,100MWhの電力を発電してFITにより売電します。

本件では、発電に加えバイオマスで発生する熱を牛舎の暖房等に活用し、プロジェクト全体で年間約910t-CO<sub>2</sub>の削減を見込むとともに、家畜ふん尿を回収して液肥化することで中標津町の社会問題となっている臭気対策の一助となることを目指しています。

当行は、本件を通じて番匠伊藤組のサステナビリティ経営に対する取り組みを金融面から支援してまいります。

なお、本件は、ローン・マーケット協会（LMA）「グリーンローン原則 2023」との適合性について、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、評価レポートを取得しております。

【ふん尿処理・エネルギー利用の概要】



[出所：番匠伊藤組ヒアリングより R&I 作成]

3. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
 北海道銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室 安達 Tel(011)233-1009  
 コンサルティング営業部 山内 Tel(011)233-1069